

休眠預金活用事業成果報告会

先進事例を学びに活用する



九州大学 ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター
星野 裕志

説明の内容

- 九州大学 ユヌス & 椎木ソーシャル・ビジネス研究センター (SBRC) の紹介
 - 設立の目的
 - 沿革
 - 主な活動
 - ソーシャル・ビジネスを取り巻く環境
- ソーシャル・ビジネスケース集作成の目的
- ケース・メソッドとは
- 事例掲載団体
- ケースの例: “Eighty Days 最高のストーリーをもたらす旅で地方創生に貢献する”

SBRC設立の目的

ソーシャル・ビジネスとは、ノーベル平和賞受賞者で、本学栄誉教授であるムハマド・ユヌス博士が提唱された事業を通じて社会的問題の解決を目的とした新しい概念のビジネスです。



本研究センター(SBRC)は、ソーシャル・ビジネスに関する教育、研究、啓発・普及とインキュベーションを行っています。

持続可能な開発目標(SDGs)に向けて、地球規模の課題(貧困、健康、環境、エネルギー、教育、自然災害など)の解決に対して、国内外の関連機関との協働や共同研究等を通して課題解決に貢献することを目的としています。

沿革



➤ 2007

Grameen Communicationsと
共同研究の開始 (MOU締結)



➤ 2009

Grameen Creative Lab. および
Grameen Technology Lab.設立

➤ 2010

ムハマド・ユヌス博士に名誉教授
(Distinguished Professor) の称号授与

拠点としてのグラミンハウスを箱崎
キャンパスに設置 (現在は大橋
キャンパス内に移転)



➤ 2011

ユヌス & 椎木ソーシャル・ビジネス
研究センター設立

グラミン銀行

貧困や生活困窮の状態に
ある人たちに、低利・無担保
で少額の融資を実施。

ムハマド・ユヌス博士により、
1983年に設立。

ユヌス博士とグラミン銀行は
2006年にノーベル平和賞を
受賞。

ユヌス博士は、2001年福岡
アジア文化賞 (第12回大賞)
受賞。

SBRCの主な活動

教育

学内の学部生、大学院生を対象とする講義および
国内の大学や社会人を対象としたセミナー

研究

SBRCスタッフと研究員によりYunus Social Business
Academia Network(世界の約100箇所の大学・研究機関
に設置)を通じた研究と論文の発表

インキュベーション

YYコンテスト、SDGs ソーシャル・ビジネス・ネットワーキング・
ラボなど

啓発

ワークショップ、Social Business Forum Asiaなどの開催

ソーシャル・ビジネスを取り巻く環境



2015年に国連で提唱された持続可能な開発目標（SDGs）では、17分野の課題解消に向けて、政府や国際機関だけでなく、企業や市民が主体的に活動することが期待されており、様々なセクターの連携や持続性のある取り組みが求められています。

企業において従来から重視されてきた社会的責任（CSR）をさらに進めて、社会的な課題に主体的に関与することが求められています。特に、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）に、積極的に取り組む企業を投資対象とするESG投資が重視されていることから、ソーシャル・ビジネスに取り組む企業や関心を示す企業が急速に増加しており、追い風が吹いているといえます。

本研究センター設立から13年の間に、ソーシャル・ビジネスに対する社会の認知と必要性の理解が、急速に高まっており、また本研究センターがその牽引の一助を担ってきたと自負しています。

ソーシャル・ビジネスケース集作成の目的

革新的なソーシャル・ビジネスの創出を応援することを目的に、2012年から毎年YYコンテスト(Yunus & You Social Business Design Contest)を開催し、約6ヶ月にわたるワークショップとメンターの伴走によるプログラムを実施しています。これはムハマド・ユヌス先生の提唱されるソーシャル・ビジネスを具現化するコンテストであり、ここから既に50を超えるソーシャル・ビジネス・カンパニーが誕生しています。

これからソーシャル・ビジネスを志向する人たちが、その考え方を理解し、先行するプロジェクトの事例から学び、立ち上げに至るまでの最適なサポートは何か。今後これらに続くさらに多くの活動をサポートする方法として考えたのが、ケース・メソッドでした。

このYYコンテストから誕生した5つの企業、九州経済調査協会とユヌスジャパンの連携による休眠預金口座活用の「ソーシャル・ビジネス循環モデル地域形成」の資金配分団体として採択された5つの実行団体、地域財団・地域ファンドの2つを合わせた12のプロジェクトをケースにまとめました。

ケース・メソッドとは

当事者としてどのように判断し、戦略を構築するのかというプロセスをケースを通じて疑似体験し、意思決定力を高めるマネジメント・トレーニング方法です。

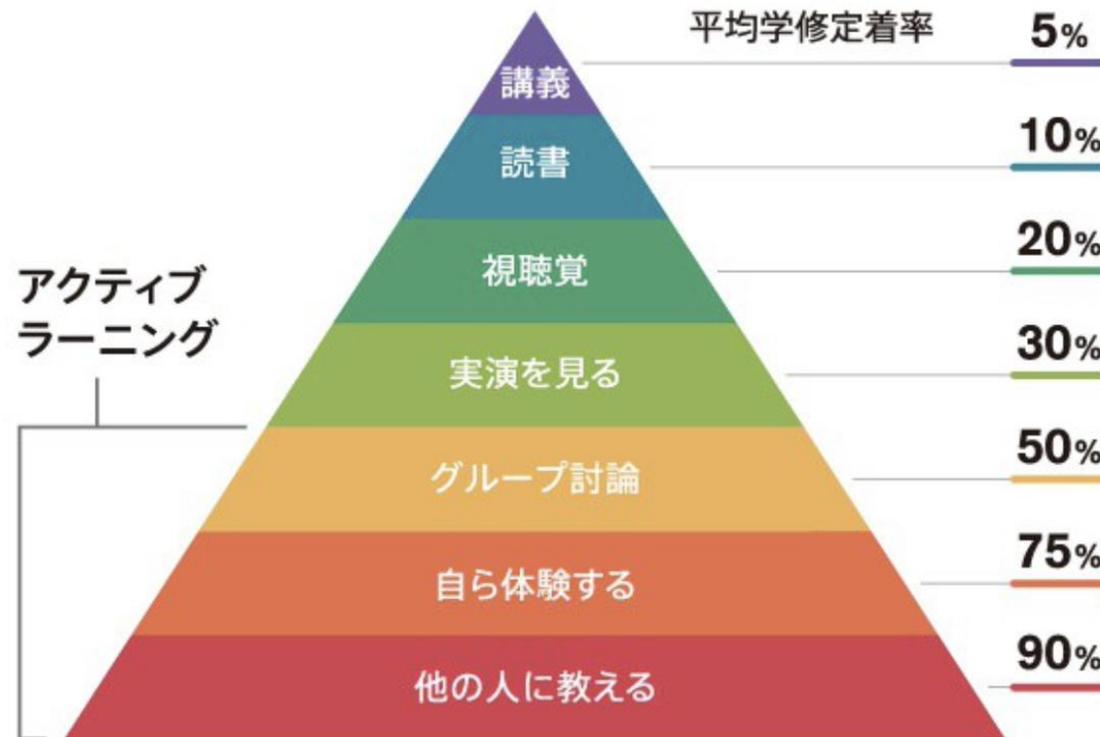
与えられたケースの状況を把握し、多角的な視点から分析し、自らの経験や知識に照らして解釈し、結論として自分なりの判断を導き出すことを学びます。

グループ・ワークや全体のディスカッションを通じて、他の考え方、視点、思考法に触れながら、自らの思考プロセスを再構築することになります。

約1世紀前に米国のハーバードビジネススクールで誕生し、広くビジネス教育に使われている教授法です。

アクティブラーニング (主体的・対話的で深い学び)

ラーニングピラミッド



講師から一方的に学ぶ講義やセミナーの形態から学べる量は、限定的と考えられます。

出典: The Learning Pyramid. アメリカ National Training Laboratories

ケース（事例研究とケース・メソッド のケースの違い）

=事例研究=

筆者の主観による判断
提示された結論から学ぶ
結論のある事実からの学習
終着点が明確
理論化・概念化
受動的な学習
学習成果は明確

例：AMAZONの成功要因

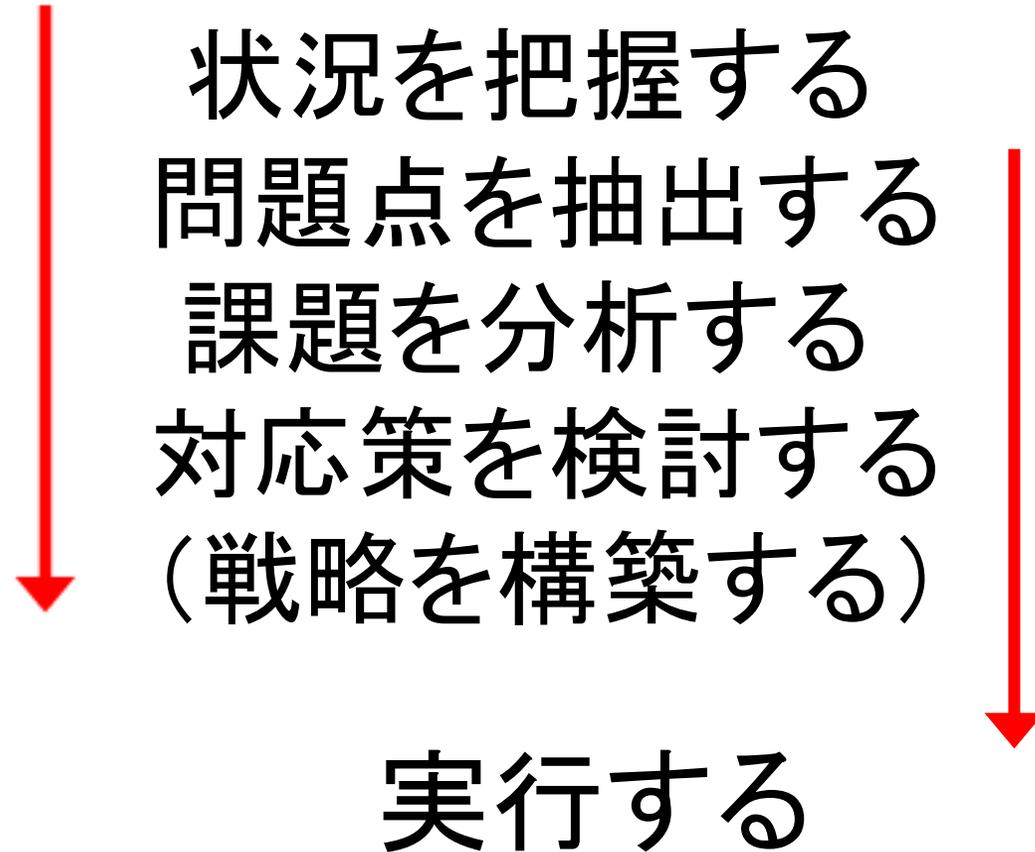
=ケース・メソッド=

客観的な事実の提示
結論を導き出すプロセスを学ぶ
疑似体験のトレーニング
多様な終着点
実践的
当事者の視点で能動的
学習成果は参加者次第で変動

例：AMAZONのドローン・デリバリー

ケース・メソッドから学ぶこと

実際の事例を通じたマネジメント・トレーニング



ケース・メソッドから得られること

- 定量的・定性的な分析力
- 洞察力・創造性
- 適応力
- 判断力
- 表現力・プレゼンテーション能力
- タイム・マネジメント能力
- 対人関係や折衝能力

ケース集掲載団体

有限会社トラスト+株式会社マイソル	休眠預金活用実行団体
株式会社ホンジョー	休眠預金活用実行団体
WorkStep株式会社	休眠預金活用実行団体
株式会社ボーダレス・ジャパン	休眠預金活用実行団体
株式会社よしもとラフ&ピース	休眠預金活用実行団体
オングリットホールディングス株式会社	YYコンテスト
Eighty Days株式会社	YYコンテスト
株式会社RelieFood	YYコンテスト
フィールグッドソーシャルビジネスカンパニー株式会社	YYコンテスト
うむさんラボ	地域財団・地域ファンド
ちくご川コミュニティ財団	地域財団・地域ファンド
ヒューマンハーバー	日本初のソーシャルビジネスカンパニー

採択された実行団体と事業内容(5団体)

「捨てるから創るへ、 医療機器リサイクルプラットフォームの事業化」 本城商店株式会社

使用済み医療機器の処理について、資産処理運用の標準化を行い、情報共有システムの構築による医療機器リサイクルプラットフォームの形成をめざす。

助成総額 助成額【2,540万円】
評価関連経費【126万7,200円】



「ママドラフト会議 for Kyushu Island」 WorkStep株式会社

九州地域の潜在就業女性を産業につなぐイベント「ママドラフト会議」を発展させ、オンラインで潜在就業女性を産業につなげる女性向け求人サイトなどを展開。

助成総額 助成額【2,810万円】
評価関連経費【140万5,000円】



「コ・ワーケーション事業による九州の地域活性化」 有限会社トラスト/株式会社マイソル

スモール起業と暮らし方のシェアリングモデルを掛け合わせた「コレクティブハウス」で、孤独・孤立を解消するとともに、社会起業家を継続的に支援する。
【有限会社トラスト/株式会社マイソル】

助成総額 助成額【2,590万円】
評価関連経費【128万8,000円】

リエートス定例イベント

学ぼう！話そう！触れ合おう！

ソーシャルピッチ ～リエートス参画企業による事例紹介&トークセッション～



12/5
(Saturday)
13:30~17:00

株式会社マイソル 福澤久氏
株式会社ヒューマンハーバー 副島勲氏
TFTセンタージャパン 森川穂女氏
一般社団法人WAOJE 小田原晴氏
有限会社トラスト 小野祐紀香氏

「ボーダレスソーシャルバンク」 株式会社ボーダレス・ジャパン

社会起業家のコミュニティの提供と創業資金の無利子融資を行う会員制の仕組み「ボーダレスソーシャルバンク」を構築し、社会起業家の育成・創出を図る。

助成総額 助成額【4,000万円】
評価関連経費【81万3,000円】

2021.1.8 開講! 第8期

社会起業を成功させる ソーシャルビジネススクール

説明会 12.27 mon 1.5 wed

BORDERLESS
ACADEMY



「沖縄県におけるソーシャルビジネス
インキュベーション推進事業」
株式会社よしもとラブ&ピース

沖縄県におけるソーシャルビジネスの起業支援・普及啓発を目的としたインキュベーション事業をワークショップ開催や2022年3月開局のBS番組との連動で展開する。

助成総額 助成額【5,360万円】
評価関連経費【255万円】



島ぜんぶでうむさんラブ
Uchina Social Action Powered by Yunus Social Business

Eighty Days 株式会社

最高のストーリーをもたらす旅で
地方創生に貢献する



図1 能楽を体験するツアーの様子



図3 関市の日本刀職人と共に作り上げた
「日本刀の聖地を巡る SAMURAI ツアー」



図4 座禅を体験する外国人旅行客

事業概要

Eighty Days 株式会社¹（以降、Eighty Days と記載）は、「最高のストーリーを旅する」ことをコンセプトに、外国人旅行客と地方を訪れ、地元の人との出会いや文化交流を促進する観光事業を展開する企業である。

同社が企画実施するツアーや体験コンテンツ等の観光商品は、単に地方を観光するだけでなく、外国人旅行客がその土地ならではの伝統文化・芸能や行事などの「非日常」を体験できることが特徴である。Eighty Days という社名は、フランスの小説『80日間世界一周』に由来している。非日常の旅を提供することを通して、同小説のように、何十年経っても語りたくなるようなストーリーを届けたいという思いが社名に込められている。

● 観光業を通じた地方との連携

日本は少子高齢化の進行により、人口減少や経済規模の縮小が予測されている。特に、地方においては、経済や伝統文化が衰退し、消滅の危機に晒される等の様々な問題が生じている。街の活気が失われ、後継者不足が深刻な地域も少なくない。

Eighty Days は、観光事業を通して、このような課題を抱える地域と連携することで、地方経済や伝統文化の活性化に貢献することを目指している。



図2 YY コンテスト授賞式の様子



事業

外国人旅行客と地方を訪れ、地元の人との出会いや文化交流を促進する観光事業を展開する企業。同社が企画実施するツアーや体験コンテンツ等の観光商品は、単に地方を観光するだけでなく、外国人旅行客がその土地ならではの伝統文化・芸能や行事などの「非日常」を体験することが特徴。

目的

少子高齢化の進行により、人口減少や経済規模の縮小が予想される中で、特に地方においては、経済や伝統文化が衰退し、消滅の危機に晒される等の問題が生じている。街の活気が失われ、後継者不足が深刻な地域も少なくない。同社は、観光事業を通して、このような課題を抱える地域と連携することで、地方経済や伝統文化の活性化に貢献することを目指している。

ビジネスモデル

顧客： 外国人旅行客のうち、主に富裕層旅行客
パートナー： 地域の伝統を担う方
収益・コスト構造： 富裕層と強いネットワークを有する海外の旅行代理店を主な販路として、現地等の宿泊施設、交通事業者、ガイド、美術館や観光施設に対する支払いが発生。

社会的インパクト

SDGs 目標 8: 働きがいも経済成長も実現できる社会
SDGs 目標12: つくる責任つかう責任



設問

- 1 Eighty Days の事業は、どのような社会課題の解決につながると考えますか？
直接的および間接的に解決できることについて、挙げてください。
- 2 今後、同社が社会的課題の解決と事業を両立していくためには、どのような課題があると思いますか？
「社会性」、「事業性」、「革新性」の三つの観点から考察してください
- 3 同社は現在、既存事業の拡大を目指しています。事業を拡大する中で、持続的に地方創生に貢献するためには、どのような仕組みが必要だと考えますか？
「持続可能性」という観点から、同社の拡大戦略について考察してください
- 4 同社の事例から、あなたが学べることは何でしょうか。
事業性、社会課題の解決、リーダーシップ、イノベーション、組織、人材、マーケティング、理念浸透など様々な視点で考えてください。



終わりに

ケースのディスカッションでは、参加者やケースのリーダー次第で、様々な展開や異なる気づきを得ることができます。

このソーシャル・ビジネス事例集が、社会的な問題にソーシャル・ビジネスで取り組みたいと考えている方々や、業を通じて課題の解決に貢献する新しいビジネスの手法を理解し、また導入に向けて検討される方々にとって、良いモデルとして使われることを期待しています。